

「市長と語る会」実施報告

西春近地域協議会

西春近地域協議会では、去る7月27日（月）に吉田浩之伊那市長をお迎えし、「市長と語る会」を開催いたしました。当日は地区の区長さんや関係団体の代表の皆さんにもご出席いただき、日頃地域で感じている課題や要望を市長へ直接お伝えする貴重な機会となりました。



参加委員から出された質問・要望と、それに対する市長のコメントの要旨を項目別にまとめ、地域の課題や要望として市へお伝えした内容を、地域の皆さまにご報告いたします。

日 時	2026 年 7 月 27 日（月） 18 時 30 分～20 時 00 分
会 場	西春近公民館
主 催	西春近地域協議会
出 席	吉田浩之伊那市長、西春近地域協議会委員（区長・前年度区長・関係団体代表者など）

■ 質問・意見（委員より） ■ 市長のコメント

I 道路・交通安全に関すること

1. 県道南箕輪沢渡線の通学路安全対策

質問・意見

県道南箕輪沢渡線は道幅が狭く、朝の通勤・通学時間帯には国道の渋滞を避けた車両が流入し危険な状態にある。過去に自転車通学中の春富中生徒が車両と接触する事故が2度発生しており、地元では昨年12月に対策協議会を立ち上げて安全対策に取り組んでいる。早急な対策への支援・協力をお願いしたい。

市長のコメント

国道に対して県道を直角に付け替える計画があり、現在はさぬき屋前の用地確保が課題となっている。伊那建設事務所が昨年度から地権者との交渉を本格化させており、市としても土地取得に積極的に関わっていきたい。私自身、この区間は伊那市内で最も危険な通学路の一つと認識しており、県と連携し早期整備に取り組む。

2. 国道153号沿いの老朽空き家対策（緊急輸送道路の安全確保）

質問・意見

国道153号沢渡南交差点付近に、人が住めない状態の老朽空き家が4軒残っている。当該区間は迂回路のない緊急輸送道路でもあり、国道側に倒壊すれば通行に支障が出る。特定空き家への指定やその後の行政代執行など、事前防災の観点から早期の解体・撤去を進めてほしい。

市長のコメント

個人所有物であるため、特定空き家等への指定や行政代執行に至るまでのハードルが実務上高い。9月議会に向けて、新たな対応の枠組みを検討している。予算面については議会前のため詳細は明らかにできないが、段階的に対策を進めていく。危険性について、所有者への働きかけを継続する。

※事務局より：業者からの情報により、4軒のうちの1軒について、8月以降に取り壊すことが判明しました。

3. 国道153号 赤木・ローソン付近への信号機設置要望

質問・意見

伊那本線バスの折返し場所である赤木のローソン店舗前の交差点は交通量が多いにもかかわらず信号機がない。農作業のために下牧方面の田んぼを行き来する住民が道路を横断せざるを得ず、危険な状態が続いている。昨年から市・警察署へ要望している。

市長のコメント

信号機の設置は県公安委員会の所管であり、県予算に関わる事案となる。要望内容については引き続き県に伝え、実現に向けて働きかけていく。

4. 横断歩道設置要望（小出三区）

質問・意見

木裏原自治会・中原町の一部・南丘町地区の児童（十数名規模）が通学に利用する市道犬田切線と春日街道の交差点への横断歩道設置を、昨年、区長会を通じて市・警察署へ要望した。進捗状況を確認してほしい。

市長のコメント

担当部署に伝え、状況を確認する。

II 防災・インフラに関すること

5. 指定避難所（南小学校）の防災機能強化

質問・意見

西春近北小学校は体育館や防災備蓄倉庫が整備されているが、西春近南小学校は敷地に余裕がなく大きな防犯備蓄倉庫を設置できない。使用していないプールを埋め立て、防災備蓄倉庫や駐車場として活用できないか。

市長のコメント

プールの解体には塩素除去費用も含め多額の費用がかかるため、単純に埋め立てることは難しい。土地自体は有効活用できる広さがあると認識しており、財源確保を図りながら順次検討する。防災備蓄品についてはできる限り一か所に集約できるよう検討していく。

6. 道路沿い樹木の管理（越境枝・倒木リスク）

質問・意見

県道や市道沿いの樹木の枝が伸び、雨や雪の際に道路に垂れ下がったり、老朽化により倒木の危険もある。電力会社は電線にかかる部分のみ剪定するため根本的な対策にならない。

国交省の関連補助金であるライフライン除伐は対象要件が厳しく活用しづらい。

高齢者世帯の中には携帯電話を持たない方もおり、固定電話や有線放送が唯一の情報伝達手段となっているケースがあり、県への条件緩和の要請、または市独自の予算措置を検討してほしい。雨の時には防災無線も聞き取りにくいということもある。

市長のコメント

要件緩和については県に要請していく。

7. 集会施設の統合とエアコン整備／コミュニティセンター補助金

質問・意見

来年度の脳いきいき教室について、エアコン未設置の公民館が対象外とされ、遠方の公民館に集約されることになった。移動手段の確保や、既存施設へのエアコン設置補助制度の創設を検討してほしい。また、コミュニティ助成事業の補助金申請が数年連続で不採択となっている。採択されやすくなるよう、事業規模の見直し等について助言がほしい。

市長のコメント

災害時にまず住民が集まるのは各地区の公民館分館であり、猛暑時や選挙投票時の対応のためにもエアコン整備を順次進めたいと考えている。ただし全額を市が負担することは難しく、区の会計から一部負担いただく形も含めて検討する。対象施設が多数（100か所規模）に上るため、一斉整備は財政的に困難であり、優先順位をつけて進めていく。コミュニティ助成事業（宝くじ収益を財源とする補助制度）は採択が非常に狭き門だが、できる限り支援していきたい。脳いきいき教室に関して、統合の進め方について事前説明が不十分であった点については申し訳なく思っており、地域の理解を得ながら進めるよう改めて徹底する。

III 自治会運営・区長業務に関すること

8. 自治会の役員・業務負担軽減の取組状況

質問・意見

6月26日付の新聞報道で、市長が自治会の役員・業務の見直しを行い、持続可能性を重視して行事や事務の廃止・縮小を検討していると報じられていた。実際に具体的な取組は進んでいるか。また、前市長の方針であった「自治会コーディネーター」の設置・配置は継続しているか。

市長のコメント

地域によって自治会が抱える課題は大きく異なる（高齢化率が高く人口の少ない過疎地域、若い世代が多いが加入率が低い地域など）ため、一律の対応ではなく各区・各地域の課題を整理した上で対応を検討している。市から区長への出席依頼（会議・行事等）を洗い出し、動員的な依頼になっていないか見直しを進めている。広報紙配布の負担についても、フリーペーパー業者への委託等の代替策を研究中。募金活動（赤い羽根等）についても継続の要否を見直す方向で検討している。自治会コーディネーターは現在も長谷地域に配置されており、人口減少が著しい同地域の存続に関わる課題への対応を担っている。他地域への配置拡大については今後の検討課題としたい。

9. 区長のあて職見直し・なり手不足への対応

質問・意見

区長のなり手不足が深刻。現役世代は仕事があるため引き受けてもらいにくく、過去には人間関係にまで影響したケースもある。各種団体の総会等への「充て職」出席が負担になっており、実際には出席するだけで済むような会議は資料送付での代替を検討してほしい。市職員によるサポート体制も検討してほしい。

市長のコメント

各種団体（同盟会等）の総会等への区長出席については、団体側が県・国への要望活動の裏付けとして出席者の実績を必要としている面もあり、単純に廃止してしまうと団体の存続に影響

することも考えられるが、必要性については改めて精査し見直しを進める。区の中で見直せるものは各区で検討いただき、市として無駄と思われるものについては声を上げてもらえれば一緒に検討したい。

10. 選挙投票所の暑さ対策

質問・意見

今後の選挙において、投票管理者、立会人等が炎天下で長時間従事することになる。スポットクーラー等の暑さ対策を検討してほしい。

市長のコメント

選挙管理委員会に確認し、対応可否を伝える。事前説明会の機会にあわせて対応方針を示せるようにしたい。

IV 有害鳥獣対策に関すること

11. 熊・有害鳥獣の目撃・被害情報の共有体制

質問・意見

熊の目撃・被害情報が区長・総代を通じて市に十分届いていない、あるいは届いても地域内で共有されていないと感じる。他地域では放送等で広く周知されている例もある。地域全体の生息状況を把握し、鳥獣対策に関する情報を関係者間で共有する体制を整えてほしい。

市長のコメント

情報伝達のどこがボトルネックになっているか（市への報告自体が届いていないのか、市からの周知が不十分なのか）を確認する必要がある。区長を通じて改めて市に問い合わせしてほしい。市では報告を受けたものはストックして把握しており、被害が大きい場合は対応を検討する。まずは確実に報告を上げてもらうことが重要。

12. イノシシ・猿・熊等による被害と対策（複数委員より）

質問・意見

イノシシが田んぼの石垣付近に棲み着き、畑の農作物や道路脇の石垣を荒らす被害が続いている。人への直接被害はないが生活への影響は大きい。市に被害を報告しても有効な対策が取れない。罠・音による威嚇（住宅地では使用不可）・餌代など地区の負担が大きく、猟友会も高齢化・人員減少で管理しきれない状況にある。猿による農作物被害も深刻で、収穫前に食べられる。人を恐れなくなっているとの報告もある。周辺での熊の目撃情報もある。個体数調整に向けた抜本的な対策、及び貸出用の威嚇音発生器の補充等の支援を求める。

市長のコメント

有害鳥獣対策は伊那市全体の課題であり、特にイノシシ・猿・鹿への対応を求める声が多い。根本的な解決には個体数調整が最も確実な方法であり、わなの設置や捕獲の推進を担当課に指示している。ただし猟友会の高齢化が進んでいる実情があるため、市民が狩猟免許を取得しやすくなるよう財政的な支援を行うことも検討している（免許取得後すぐに効果が出るものではなく、一定の時間を要する）。人が山に入らなくなったことも要因の一つであり、山林整備を含めた対策も必要と考えている。

V 生活環境・高齢者福祉に関すること

13. 防犯灯（LED）の更新費用への助成

質問・意見

防犯灯のLED化が進んでいるが、LEDも経年で球切れ・故障する。交換費用への助成制度がないため、設置時と同様の助成制度を検討してほしい。

市長のコメント

安全対策として、まだLED化されていない防犯灯のLED化を優先的に進める方針。全額を市が助成することは財政的に難しい面があるが、検討課題として持ち帰り、対応可否を検討する。

14. 高齢者送迎サービス車両の更新・グループタクシーの利用拡大

質問・意見

市社会福祉協議会の送迎サービス車両（西春近地区配備の2台）が老朽化しており、坂道でエンストしかねない状態になっている。早期の更新を検討してほしい。また、グループタクシーについて、利用可能時間が15時までで土日にも利用できないなど制約があり、高齢化が進む中で利用時間帯の拡大（夕方・土日対応）を検討してほしい。

市長のコメント

送迎サービス車両の更新については要望として承り、対応を検討する。グループタクシーについては運行するタクシー会社側の運転手不足が大きな課題であり、稼働時間帯を含めて事業者と調整を進めている段階。夕方・土日への拡大は現時点で確約できないが、引き続き協議していく。

VI 農業・産業に関すること

15. 農業用水の確保に対する財政支援

質問・意見

台風6号・7号の影響や渇水により、表木及び沢渡土地改良区が天竜川から農業用水を取水できない状態が続いている。土地改良区がこれまで自費で重機を投入して対応してきたが、今回で3回目の作業となるので財政的な支援をお願いしたい。

市長のコメント

詳細を把握していたため即答はできないが、過去に類似の事案（三日町頭首工の堰破損時）で農政局と国交省の排水ポンプ車により対応した事例がある。市としても対応できる範囲で財源を検討するとともに、繰り返し発生していることから抜本的な対策についても一緒に取り組んでいきたい。

※事務局より：農政課にお願いして8月3日に現場に重機が入りました。



2026年8月4日撮影

16. 農業用小屋等に対する固定資産税課税への懸念

質問・意見

税務課の調査により、これまで黙認されていたような農業用の作業小屋等が課税対象として指摘されるようになった。工夫して自作した小屋を、課税を避けるため自ら解体・撤去したケースもある。ぎりぎりの経営で工夫しながら営農している農家が多い中、頑張っている生産者を後押しするような対応を検討してほしい。

市長コメント

固定資産税の課税基準について、農家であることを理由に一律に減免することは公平性の観点から難しい。ただし、課税の可能性について、JA等を通じて事前に周知していくことは市として取り組んでいきたい。農業は伊那市にとって重要な産業（アスパラガス等）であり、耕作の維持は農地の荒廃防止や有害鳥獣対策にもつながることから、JA等と連携しながら生産者を支援していきたい。

VII 文化・地域資源に関すること

17. 神社（市指定文化財）の維持管理に対する補助

質問・意見

小出諏訪神社（市の重要文化財に指定）について、氏子からの奉賛金が年々減少しており、維持管理の予算確保が難しくなっている。補助制度の活用可能性について検討してほしい。

市長のコメント

文化財としての補助制度は、正式に文化財指定を受けているものであれば活用の余地がある。今後、文化財としての支援のあり方について検討していきたい。

市長からのまとめ（意見交換を終えて）

意見交換の最後に、市長より「参加された皆さんそれぞれが地域のことを真剣に考えていることが伝わった。市内を回らる中で、元気のある地域とそうでない地域の違いは、地域を引っ張るリーダーの有無にあると感じている。市としてもリーダーが育つ環境づくりに取り組んでいきたい。いただいた要望はすべてに応えられるわけではなく、限られた予算の中で優先順位をつけて対応していくことになるが、その責任は自分にある。半年後、一年後に、今回の声がどう形になったか確認できるようにしていきたい」との発言がありました。

※ 本まとめは録音記録をもとに西春近地域協議会にて要旨を整理したものです。発言の趣旨を損なわない範囲で表現を整理・要約している部分があります。詳細についてのお問い合わせは、西春近地域協議会事務局（西春近支所）までお願いいたします。